

第35回
東京国際映画祭
日本映画クラシックス
正式出品作品

DOOR

デジタルリマスター版

高橋恵子 堤 大二郎 下元史朗 米津拓人

監督・高橋伴明

製作:高橋文雄 企画:渡辺 敦 プロデューサー:久里耕介 脚本:及川 中、高橋伴明
撮影:佐々木原保志(J.S.C.) 照明:岩崎 豊 録音:福田 伸 美術:細石照美 編集:菊池純一 効果:福島幸雄 音楽:津野剛司
特殊メイク:原口智生 特殊造形:松井裕一 助監督:平山秀幸 制作担当:小橋孝裕、鎌田賢一
製作:エイジェント21、ディレクターズ・カンパニー

2022年デジタルリマスター(1988年スーパー16ミリ方式) / 日本 / カラー / ビスタ / DCP / 95分
特別協力: qooop 提供:シネマ企画 配給:アウトサイド
© エイジェント21 / ディレクターズ・カンパニー

ドア一枚の向う側、
惨劇あり!

埋もれていた貴重なネガ発見からJホラー映画の原点が35年ぶりに蘇る。
実力派・高橋伴明監督が描く主婦VSストーカーのスーパーバイオレンス!



ドア一枚の向う側、
惨劇あり！

実力派・高橋伴明監督が描く
主婦 VS ストーカーの
スーパーバイオレンス！

最新作『夜明けまでバス停で』(22)の大ヒットで
存在感を示した高橋伴明監督。
行方不明だったネガの発見から、隠れた傑作『DOOR』(88)が
35年ぶりにデジタルリマスターで蘇る！
第35回東京国際映画祭・日本映画クラシックスに正式出品。
ディレクターズ・カンパニーと共に新たな注目を集めている。
ごく平凡な主婦がある出来事をきっかけに
ストーカーとなった男から執拗に狙われる心理サスペンス。
じわじわ迫り来る描写はピンク映画を60本近く撮った
高橋監督の演出力から来るものだ。
大映スタジオに建てた室内セットでの俯瞰から映す移動撮影は、
映画のルールをばらすことで、今もって新しい。

「扉」映画の決定版

互いが被害者であり加害者でもある人間ドラマ…ラスト20分の震撼！



DOOR
デジタルリマスター版

監督：高橋伴明 脚本：及川中、高橋伴明
出演：高橋恵子、堤大二郎、下元史朗、米津拓人
2022年デジタルリマスター（1988年スーパー16mm方式）／日本／カラー／ビスタ／DCP／95分
特別協力：qoop 提供：シネマ企画 配給：アウトサイド
© エイジエンツ21 / ディレクターズ・カンパニー ※ R15+ (15歳以下はご覧になれません)

Question
ココでクイズです。
ココで!?
Q この襲われそうな主婦(高橋恵子)は
劇中で衣装を何回変えるでしょうか?
ご回答は → → → @ DOOR2023
『DOOR デジタルリマスター版』公式Twitterまで

2023年2月25日[土]より独占ロードショー!

全国共通特別鑑賞券 ¥1,300(税込)販売中[当日一般:¥1,800/学生:¥1,500の処]

*劇場窓口にてお買い上げの方にもれなく特製ポストカードをプレゼント

●舞台挨拶・トークイベント情報及び、上映時間は劇場HP、公式Twitterをご確認ください

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿 道コムショップ左入ル

新宿 K's cinema
03(3352)2471 www.ks-cinema.com

◆各回入替・全席指定席◆

